

(1) 奈良放送局前

ご通行中の皆さん、こちらは「NHK 問題を考える奈良の会」です。

今日私たちは、NHK の安倍政権べったりの報道姿勢への抗議行動、宣伝活動のためにやってきました。この同じ時刻に、東京渋谷の NHK 放送センターには 1,000 人を超える人たちが集まり NHK 包囲行動を行っています。

皆さんは、最近の NHK の報道姿勢をどのように見ておられますか？

9月17日、安保法案を審議した参議院特別委員会の実況中継で、「議場騒然、聴取不能」という混乱の中、NHK は早々と「可決」の速報を流しました。この NHK の報道は、憲法違反の法案をゴリ押しした政府のシナリオを既成事実化するものでした。

TPP についての報道、沖縄辺野古米軍基地建設についての報道などでも、政府側の主張や見解をできるだけ効果的に伝えようとする一方、政権への批判を招くような事実や、批判の言論、市民の反対運動などは極力報じないという姿勢が際立っています。

これらのことは、放送法で定められている「意見が対立している問題については、できるだけ多くの角度から論点を明らかにする」ことに違反しています。

私たちが受信料を払うのは、政府から自立し国民の知る権利に応える真の公共放送としての NHK です。公共放送の使命を投げ捨てている NHK には受信料を払いたくありません。ところが最近自民党内から、受信料を義務化せよという声が挙がり、靱井会長はさっそく、マイナンバーを活用した義務化を検討する意向を表明しました。義務化されたら、どんなことになるでしょうか？「靱井会長就任以来、安倍政権べったりの報道番組が目につく。是正されるまでは、支払いを一時凍結する、」などということは出来なくなります。つまり、受信料を支払う私たち視聴者の意思表示ができなくなってしまう。NHK がモットーとしている「みな様に支えられた NHK」ではなくなってしまう、そして、NHK はますます時の政権の顔を窺うようになってしまわないでしょうか？このような受信料義務化には反対の声を挙げましょう。

NHK が政権に支配されるようなことになれば、かつてのアジア太平洋戦争の時のように、「大本営発表」を許すことになりかねません。

安倍政権擁護の報道をますます強める靱井会長の辞任を強く求めましょう。